



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



創立メンバーによる卓話



鹿間 虹美 会員

ロータリー理解推進月間卓話

ロータリアンの義務

会費を納入

クラブで決められた会費を半期毎に支払う

出席

ホームクラブの例会に出席すること、出席出来ない場合は一定の期間にメイクアップする

他クラブへのメイクアップを奨励

雑誌購読

公認地方誌「ロータリーの友」の購読
読まれざるベストセラー

奉仕の心を実践に移す

決議23-34について

85年間に数回の修正を経て現在迄生き残った規定

利己の願望と奉仕意識との間に絶えず生じる葛藤を調和しようとする哲学こそ

Service above self

(ロータリーの第1モットー)である

実践倫理原則は

He profits most who serves best

(ロータリーの第2モットー)だ

He = She One They

ロータリークラブは親睦的社交団体

クラブは会員に対して個人奉仕の励行を絶えず提唱する



西田 光衛 会員 卓話

ロータリーは卓話がメインでありそれを学び帰って地域社会に奉仕する

例会で親睦をはかれ

これすなわち楽しい例会になる



増田耕太郎 会員

(ロータリー情報委員会担当)



President **会長の時間**

来週 2月7日の土曜日は、東播第2グループのI.M.となっております。

そこで、I.M.について整理してみたいと思います。

I.M.とは、「Intercity Meeting」を略したものでして、都市連合会と訳されています。近隣都市数クラブ（東播第2グループの5クラブ）が集まって開かれるロータリーの会合です。この会合の目的は、各クラブの会員全員が参加して、会員相互の親睦と知識を深めることであり、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強することであるとされております。I.M.においては、決議や決定はありません。

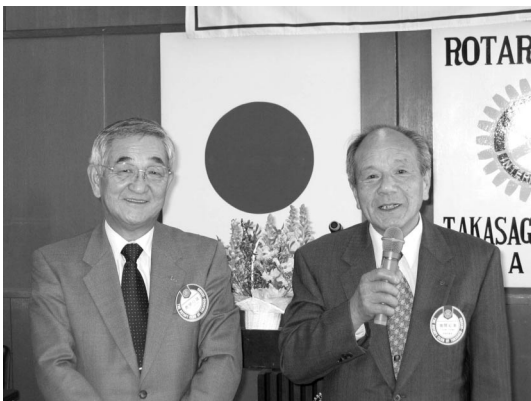
従来（15年余以前）は、I.G.F.（Intercity General Forum）が開かれておりました。I.G.F.は、ロータリー情報及び教育の手段として研究・討論する会合とされておりました。この会合は、ガバナーから任命されたリーダーが司会をし、参加クラブより提出された事項について意見を出し合い、討論をし、カウンセラーが助言をし、全体討論では、ゼネラル・リーダーが概評をする、といった進め方をしておりました。

勉強重視から親睦重視へとその重点が移ってきたように思われます。I.M.は、全員登録となっております。I.M.に出席して、近隣クラブのロータリアンとの親睦を深めて頂きたいと思っております。ロータリーは、親睦に始まります。



et cetera **委員会報告**

喜寿祝 鹿間虹美 会員



委嘱状

ロータリー財団委員会 財団学友小委員会、小委員長としてご奉仕下さいますようご委嘱申し上げます

佐野 栄作 会員



プログラム予定

2月7日(土)	2月11日(水)	2月18日(水)	2月25日(水)
東播第2グループI.M. 【ホスト 加古川平成R.C.】	休 会 (祝日のため)	卓話 原田会員 於:ふれあいの郷生石研修センター 【国際奉仕委員会担当】	卓 話 西田 会員



Donation

ニコニコ報告

鹿間 行雄

来月7日の土曜日は東播第二グループI.M.となっております。出席方よろしく申し上げます。R情報委員会のプログラム楽しみにしています。

竹原 俊三

本日のプログラムを担当頂き卓話頂く皆さん、お世話になります。宜しくお願いします。

西田 光衛

喜寿の御祝を頂きました。

鹿間 虹美

喜寿のお祝いありがとうございます。

西田 光衛

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

小西 文孝

一月も終りになって来ました。皆様お身体ご自愛下さい。

松尾 毅

新年会楽しくすごしました。タイ国よりの留学生スパーワンもたいへん喜んでおりました。

柿木 國夫

先日の亡母の葬送には、ご鄭重なるご弔慰並びにご厚志を賜り厚く御礼申し上げます。

本日は会議所公務のため欠席致します。

菱田 克己・増田耕太郎・廣瀬 明正

矢野 聡

花を飾りましょう。



Secretary

幹事報告

第25回 通算1389回

1. 回覧その他

国際ロータリー第2680地区より2011-2012年度ガバナー・ノミネー決定のお知らせが届いております。神戸東ロータリークラブ 久野薫氏(久野病院院長)に決定したようです。

国際ロータリー第2680地区 ロータリー財団委員会より国際親善奨学生募集のご案内が届いております。

国際ロータリー第2680地区 新世代委員会よりRYLAセミナーのお知らせが届いて

おります。

国際ロータリー第2680地区より第14回日本青少年交換研究会・第6回全国ROTEX会議開催のご案内が届いております。

国際ロータリー第2680地区より地区ローターアクト主催バザー商品提供のお願いが届いております。

国際ロータリー第2680地区より第10回ロータリー国際囲碁大会開催のご案内が届いております。

ハイライトよねやまが届いております。

ザ・ロータリアン誌が届いております。

日本レスキューサポートセンターよりセミナー開催(国際ロータリー第2680地区後援)のご案内が届いております。

確定申告用領収証が送付されています。

ボックスに入れておきます。

Neighbor-club information

近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	東播第2グループI.M.のため	2/6(金) 2/7(土)
〃	新年家族例会のため	2/13(金) 2/12(木)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	2/27(金)
明石北ロータリークラブ	明石R.C.との合同例会のため	2/17(火)
加古川中央ロータリークラブ	東播第2グループI.M.のため	2/12(木) 2/7(土)
加古川平成ロータリークラブ	東播第2グループI.M.のため	2/4(水) 2/7(土)
加古川ロータリークラブ	東播第2グループI.M.のため	2/10(火) 2/7(土)

例会記録 2009. 1. 28 (水) 通算1466回

- ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」
四つのテスト 職業奉仕委員会 田中伸明副委員長
来訪ロータリ (1月21日分)
アン報告 和田長平様(姫路南R.C.) 室田隆重様(姫路中央R.C.)
西田秀雄様(高砂R.C.) 西川敏彦様(高砂R.C.)
作田慎治様(高砂R.C.) 山名克典様(高砂R.C.)
脇谷政孝様(高砂R.C.)
(1月28日分) 脇谷政孝様(高砂R.C.)
- 出席報告 1月14日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率82.61% <修正による>
(この内出席免除者9名)
1月28日 会員数 52名 欠席者 12名 出席率 73.91%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ②6

近藤 亀蔵 (こんどう・かめぞう) 日本一大金持ちの豪商

この男、江戸時代末、日本一の大金持ちだった。享保年間(1730年ころ)に「日本長者鑑(かがみ)」という全国の長者番付表が初めて出版された。後年、ここに近藤亀蔵の名前がトップとして登場するのである。当時の財産が実に60万両。日本一と折り紙をつけられたのである。

60万両とは、現在ではどれほどの貨幣価値なのか。1両の価値が6万円から20万円まで幅広い説がある。仮に10万円と考えると600億円。すごいではないか。それでは、そんな巨万の富を亀蔵はどうやって手中にしたのだろうか。

天明元(1781)年、加東郡太郎太夫村(現小野市市場町)で近藤仁左衛門の長男として生まれた。父は新田開発で財をなしたが、寛政元(1789)年に死亡。亀蔵はわずか9歳で家督を継いだ。

母の手ひとつで育てられたが、幼少のころから商才があったという。亀蔵が最初に手がけたのは加古川の舟運(しゅううん)業。早くから目をつけたこともあって業績は伸びた。ためた資金で今度は、さらに儲けの大きい全国への回漕(海運)業に乗り出した。

大金持ちになるには、スケールの大きさが必要なのか。亀蔵は百石以上積める大型船を数隻確保する一方、大坂、兵庫、高砂、下関に倉庫を置き、長崎から北海道までの沿岸を回って米、肥料、食料品などを売買、莫大な収益をあげ、豪商の名をほしいままにした。

好事魔多しとでもいうのだろうか。天保4(1833)年9月だった。全国的に広がった天候不順からの米不足。その大飢饉の波は北播磨地方にも押し寄せ、百姓一揆で亀蔵の屋敷は焼き討ちにあう。

ただ、亀蔵は私腹を肥やすだけの男ではなかった。私財を投じて、新田開発やため池の築造で灌漑(かんがい)工事を行い、農作物作りの環境を整えて地域に貢献。「市場の亀蔵さん、阿弥陀か釈迦か、御門(おかど)通れば後光がさす」とうたわれた。

(主な参考文献=ビジュアルブックス編集委員会・編「時代のパイオニアたち」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)